

第3学年 算数科学習指導案 単元名「わり算」 全7時間

【単元目標】A(4) 除法
 除法の意味および除法と乗法や減法の意味について理解し、除数と商が共に1位数である除法の計算ができる。

【単元がつながる内容】
 3年 いろいろなわり算
 4年 わり算の筆算

【単元に関わる既習内容】
2年 かけ算九九
 ・乗法の意味と式、2～5の段の九九
 ・倍概念
 ・6～9、1の段の九九

【単元後の児童の意識】
 全体をいくつかに同じように分けるときや、全体をいくつかずつに同じように分けるときは、わり算で計算するんだな。わり算は九九を使って計算することができるんだな。

<p>⑥0や1のわり算【活用する】 被除数が0の場合や除数が1の場合の除法の意味を理解している。(知) わる数が1のときは答えがわられる数と同じに、わられる数が0のときは答えも0になるんだな。</p>	<p>⑦たしかめ問題【活用する】 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。(知)</p>
---	--

<p>③ 包含除の意味と答えの求め方【知る】 等分したときのいくつ分の数を求めるときは、除法の式に表すことを理解することができる。(知) 何人に分けられるかを求めるときも、わり算を使うんだな。またわり算の式にはわられる数とわる数という言葉があるんだな。</p>	<p>④九九を用いた除法の計算(包含除)【活用する】 包含除の答えも、乗法九九を用いて求められることを理解し、求めることができる。(知) 何人に分けられるかを求めるときも、九九を使って計算すれば答えを求めることができるんだな。</p>	<p>⑤等分除と包含除の関係【生かす】 等分除、包含除の意味や違いを、既習の情報や図をもとに考え、説明している。(知) 1人分を求めるときも、何人に分けられるかを求めるときも、わり算になるんだな。</p>
---	--	---

【児童の実態】
 ○ほとんどの児童が乗法の式表示や九九の構成を正しく理解している。
 ●文章から何をもとめなければならぬのか、何が分かっているのか読み取ることが苦手な児童がいる。
 ●何人かの児童は6段～8段に対して苦手意識がある。

<p>①除法の意味、式表示【つかむ】 等分した時の1つ分の数を求めるときは、除法の式に表すことを理解することができる。(知) 同じ数ずつ分けるときは、おはじきを使って1つずつ配ると1人分が何個になるかわかるんだな。</p>	<p>②九九を用いた除法の計算(等分除)【知る】<本時> 等分除の答えは、乗法九九を用いて求められることを理解し、求めることができる。(知) わり算を計算するときは、おはじきを使って1個ずつ配らなくても九九を使えば計算することができるんだな。</p>
--	--

◆本時のねらい

わり算の答えを計算で求める方法を考える活動を通して、等分除の答えは、乗法九九を用いて求められることを理解し、求めることができる。

◆本時の展開(2/7)

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点
つかむ	<p>1 問題(1)提示</p> <p>2 ゼリーが20こあります。 5人で同じ数ずつ分けると、 1人分は何こになりますか。</p>  <p>立式する。$20 \div 5$</p> <p>2. 課題づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">わり算の答えをもとめる方法を考えよう。</div>	<p>・わられる数が前回よりも大きくなっており、具体物を使って考えることが大変であるということから課題化する。</p>
考える	<p>3. 個人追究</p> <p>・図を使って解くことはできないかな。 ・図で考えた後にかけ算を使うことができそうだ。 ・1人分の数をかえていけば求められるんじゃないかな。</p> <p>4. 全体交流</p> <p>・前回の様に図を使って考えると、1こずつ5人に配れば等しく配れる。 ・1人分が1こだと、全部の数が5こ。1人分が2こだと、全部の数が10こ。1人分が3こだと・・・1人分が5こだと全部の数が20こ。 ・$5 \times \square = 20$になればいいから、\squareは4。</p> <p>② 図を使ってかけ算九九で答えをもとめる方法を説明しよう</p>	<p>・様々な計算方法を意図的指名によって出す。</p> <p>・$20 \div 5 = 4$になることを確認し、かけ算九九の5の段を使うと解けることを教科書のふきだしから確認する。</p> <p>・ペア交流で互いに図を使いながら説明できるようにする。</p>
深める	<p>5. 問題(2)</p> <p>$63 \div 9$を解く。</p> <p>6. まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">わり算の答えはかけ算九九をつかうともとめられる。</div>	<p>・わられる数が大きな数のわり算でも、九九を使うことで解くことができることを確認する。</p>
まとめる	<p>7. 評価問題に取り組む</p> <p>鉛筆問題$\boxed{2}$ 鉛筆問題$\boxed{3}$を解く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準【知識】</p> <p>等分除の答えは、乗法九九を用いて求められることを理解し、求めることができる。</p> </div>